

# 農林水産商工常任委員会資料

(平成24年9月19日)

項目	ページ
1 鳥取県の経済雇用情勢について 【商工政策室】……………1	1
2 境港の外貿コンテナ貨物取扱量の現状について 【経済通商総室(通商物流室)】……………3	3
3 第8回中国吉林・北東アジア投資貿易博覧会への出展結果について 【経済通商総室(通商物流室)】……………4	4
4 「鳥取ブランド展 in ロシア2012」の開催について 【経済通商総室(通商物流室)】……………5	5
5 第1回医工連携戦略プロジェクト推進委員会の開催について 【産業振興総室(産学金官連携室)】……………6	6
6 平成24年度第1回農医連携促進協議会の開催について 【産業振興総室(産学金官連携室)】……………7	7
7 県有施設へ導入する直管形LEDランプの性能に関する標準仕様書の作成について 【産業振興総室(次世代環境産業室)】……………8	8

商工労働部

# 鳥取県の経済雇用情勢について

平成24年9月19日  
商工政策室

## 県経済の動向

○県内経済は、生産活動の停滞による下押し圧力が強まっており、基調としては、なお横ばい圏内ながら弱含みで推移している。

- ・需要面 個人消費は、乗用車の好調が続く一方、衣料品や家電の不振が根強く、全体として停滞状況。
- ・産業面 鉱工業生産は、「電子部品・デバイス」などの不振が続いており、基調としては低調な動きが続く。
- ・雇用面 有効求人倍率は、ほぼ横ばい状態で、厳しい状況が続いている。

## 鳥取県の主な経済指標

### 1 需要面（販売額等の推移）

足元の消費は、政策効果で乗用車の好調（10ヶ月連続の前年比プラス）が続く、高額消費にも持ち直しの兆しが見られるものの、衣料品の伸び悩み（2ヶ月ぶりに前年比マイナス）や、地デジ特需終了以後の家電の不振（6ヶ月連続の前年比マイナス）も根強く続き、全体としては停滞状況にある。秋以降の乗用車の失速懸念も相まって、先行きは不透明。

【大型小売店販売額】		(百万円、%)							(億円、%)		
		23年12月	24年1月	2月	3月	4月	5月	6月	24年5月	6月	
鳥取県	販売額	6,240	5,712	4,569	4,901	4,865	4,977	4,833	15,753	15,682	
	前年比	△3.2	+2.0	△5.4	+0.9	△5.0	+0.5	△2.6	△0.8	△2.6	
									全		
									国		

(注) 販売額は全店舗ベース、前年比は店舗調整後。

(資料：「大型小売店販売動向」経済産業省)

[その他の消費関係指標の前年比 (%) の推移]

	23年12月	24年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
乗用車新規登録台数	+29.3	+34.8	+24.0	+67.8	+115.2	+62.9	+34.3	+44.1
ホームセンター・家電量販店販売額	+5.1	△6.2	△12.0	△19.9	△4.3	△14.2	△17.9	-

(資料：「乗用車新規登録台数」中国運輸局、「専門量販店販売動向」経済産業省)

### 2 産業面（生産指数の推移）

鉱工業生産指数(6月)は、「電子部品・デバイス」の減産傾向、「パルプ・紙・紙加工品工業」、「一般機械工業」、「食料品・たばこ工業」などの減少により、2ヶ月ぶりに減少(季節調整済)となり、基調としては低調な動きが続いている。

【鉱工業生産指数(H17=100)】		(前月、前年比：%)							(前月、前年比：%)			
		23年12月	24年1月	2月	3月	4月	5月	6月	24年4月	5月	6月	
鳥取県	生産指数(季調済)	85.9	96.2	89.4	84.9	74.9	78.0	73.2	95.4	92.2	92.6	
	前月比(季調済)	△1.4	+12.0	△7.1	△5.0	△11.8	+4.1	△6.2	△0.2	△3.4	+0.4	
	前年比(原指数)	△8.7	+1.1	△3.7	△9.0	△13.9	△8.6	△18.6	+12.9	+6.0	△1.5	
									全			
									国			

(資料：「鳥取県鉱工業指数月報」県統計課、「鉱工業指数」経済産業省)

### 3 雇用面（有効求人倍率の推移）

有効求人倍率(7月)は、0.71倍(季節調整済)と、前月を0.1ポイント上回った。前月に比べ、有効求職者数(季節調整済)は0.2%、有効求人数(季節調整済)は1.0%増加となった。2ヶ月連続で前月の有効求人倍率を上回ったが、ほぼ横ばい状態であり、引き続き厳しい状況が続いている。

[人材が不足の主な職業] 保健師・助産師・看護師、接客・給仕の職業、保安の職業など

[雇用の場が不足の職業] 一般事務員、機械組立(生産工程)の職業、運搬・清掃・包装等の職業など

		24年2月	3月	4月	5月	6月	7月	24年6月	7月	
鳥取県	有効求人倍率	0.69	0.69	0.72	0.68	0.70	0.71	0.82	0.83	
	前年同月	0.70	0.71	0.70	0.70	0.71	0.66	0.63	0.65	
									全	
									国	

(資料：「労働市場月報」鳥取労働局)

<地区別の有効求人倍率（原数値）の推移>

	24年2月	3月	4月	5月	6月	7月
鳥取	0.66	0.63	0.55	0.53	0.54	0.57
倉吉	0.81	0.71	0.63	0.62	0.71	0.68
米子	0.78	0.77	0.70	0.66	0.65	0.74

4 企業倒産状況の推移

平成24年7～8月の倒産企業は7件、負債額8億100万円であり、このうち負債2億円以上又は従業員10名以上の倒産企業の業種は、製造業及び情報通信運輸業であった。

(単位:件・百万円・人)

区分・月		H23.1～3	4～6	7～9	10～12	H23計	H24.1～3	4～6	7～8	H24計
鳥取県	件数	14	4	13	15	46	14	20	7	41
	負債額	6,570	4,760	1,914	1,330	14,574	3,276	5,252	801	9,329
	従業員数	329	85	130	84	628	123	102	46	271

(資料:「企業倒産状況」東京商工リサーチ)

5 設備投資の動向

設備投資の動向は、「実施した」とする事業所（製造業及び非製造業を含む全産業）は、平成24年4～6月期は22%、7～9月期は27%（見通し）と5ポイント増加するものの、10～12月期は20%（見通し）と大きく低下する見込みである。

〔設備投資した事業所の割合（製造業）〕

21%（H23.4～6）→26%（H23.7～9）→26%（H23.10～12）→22%（H24.1～3）→22%（H24.4～6）

(資料:「鳥取県経営者見通し調査（平成24年8月1日実施）」鳥取県統計課)

6 各機関の景況分析

<日本銀行松江支店（9月3日公表）>

山陰両県の景気は、持ち直しに向かう動きもみられるが、横ばい圏内で推移している。

- ・生産は、一部で操業度を引き上げた状態となっている中、全体としては横ばい圏内で推移している。
- ・個人消費は、横ばい圏内の動きとなっている。
- ・公共投資は、下げ止まっている。
- ・設備投資は、緩やかに持ち直している。
- ・住宅投資は、引き続き水準は低いものの、持ち直しつつある。
- ・雇用・所得情勢は、厳しい状況にあるが、持ち直しの動きも見られる。

<鳥取財務事務所（7月公表）>

県内経済は、厳しい状況にあるなかで、おおむね横ばい圏内で推移している。

- ・個人消費は、おおむね横ばい圏内で推移している。
- ・生産活動は、弱含んでいる。
- ・雇用情勢は、厳しい状況が続いている。
- ・設備投資（24年度）は、前年度を上回る見通し。
- ・企業収益（24年度通期）は、増益見通し。

# 境港の外貿コンテナ貨物取扱量の現状について

平成24年9月19日  
 経済通商総室  
 通商物流室

平成24年1月から7月までの境港の外貿コンテナ貨物取扱量は、定期コンテナ航路就航以来2年連続で過去最高となった平成23年の同期比91.1%となっている。航路別では、中国航路が対前年同期比76.8%、韓国航路（DBSフェリーを含む）が94.9%となり、中国航路の減少が目立っている。輸出入別では、輸出が前年同期比77.2%に減少したが、輸入は102.8%に増加した。

全体的な傾向として、円高や中国の需要減等により輸出の減少が続いているが、直近では持ち直しの動きも見られる。

中国航路の輸出では、昨年下半年から非鉄金属の取扱いが減少している。

韓国航路の輸出では、非鉄金属が対前年同期比、前期比で増加。輸入では、対前年同期比で製造食品や水産品、建築資材の取扱いが増加した。

## ■外貿コンテナ貨物取扱量

<境港管理組合集計>

航路	区分	貨物量 (TEU) ※1 TEUは20フィートコンテナ1本				
		平成21年	平成22年	平成23年	平成24年 1月～7月	前年同期比
中国航路	輸出	594	1,162	704	156	30.8
	輸入	2,984	2,997	3,379	1,664	89.2
	合計	3,578	4,159	4,083	1,820	76.8
韓国航路	輸出	4,401	7,710	7,088	3,804	82.3
	輸入	4,230	5,905	7,265	4,513	109.0
	合計	8,631	13,615	14,353	8,317	94.9
合計	輸出	4,995	8,872	7,792	3,960	77.2
	輸入	7,214	8,902	10,644	6,177	102.8
	合計	12,209	17,774	18,436	10,137	91.1

※韓国航路はDBSフェリー分を含む

## <参考：境港の外航定期航路>

【中国航路】 週1便（毎週月曜日 寄港）						
月	上海 - 境港 - 金沢 - 新潟 - 富山 - 小樽 - 上海	【輸入】	上海から3日	(船社) 神原汽船㈱ (代理店) 境港海陸運送㈱		
	(金) (月) (火) (水) (木) (土) (金)	【輸出】	上海まで11日			
【韓国(中国)航路】 週1便（毎週土曜日寄港）						
土	釜山 - 酒田 - 富山 - 金沢 - 境港 - 釜山 - 蔚山 - 光陽 - 天津 - 大連 - 釜山	【輸入】	釜山から6日	(船社) 高麗海運㈱ (代理店) 境港海陸運送㈱		
	(日) (水) (木) (金) (土) (日) (月) (月) (木) (金) (土)	【輸出】	釜山まで1日			
【韓国航路】 週3便（毎週月・木・金曜日 寄港）						
月	釜山 - 境港 - 金沢 - 直江津 - 酒田 - 釜山	【輸入】	釜山から1日	(船社) 高麗海運㈱ (代理店) 境港海陸運送㈱		
	(日) (月) (火) (水) (木) (土)	【輸出】	釜山まで5日			
金	釜山 - 金沢 - 舞鶴 - 敦賀 - 金沢 - 境港 - 釜山	【輸入】	釜山から5日	(船社) 興亜海運㈱ (代理店) 朝上組境港支店		
	(日) (月) (火) (水) (木) (金) (土)	【輸出】	釜山まで1日			
木	釜山 - 境港 - 金沢 - 敦賀 - 釜山 - 徳山下松 - 門司 - 釜山	【輸入】	釜山から1日	(船社) 長崎商船㈱ (代理店) 境港海陸運送㈱		
	(水) (木) (金) (土) (日・月) (火) (火) (木)	【輸出】	釜山まで3日			
【環日本海圏国際フェリー航路】 週1便（毎週金曜日入港・土曜日出港）						
金・土	東海 - ウラジオストク - 東海 - 境港 - 東海	【輸入】	東海から14時間	(船社) DBSクルーズフェリー㈱ (代理店) 朝上組境港支店		
	通常 (日) (月) (水) (木) (金) (土) (日)	【輸出】	7/11月14時			
	冬季 (月) (火) (水) (木) (金) (土) (日)		7/11月14時			

# 第8回中国吉林・北東アジア投資貿易博覧会への出展結果について

平成24年9月19日  
経済通商総室  
通商物流室

中国吉林省長春市において、「第8回北東アジア投資貿易博覧会」が開催され、県内から中国との貿易を目指す5社が出展し、現地企業との商談等を行うとともに、鳥取県の観光やまんが王国とつとりのPRを実施しました。

## 1 投資貿易博覧会の概要等

### (1) 概要

- ・期間 9月6日(木)から11日(火)まで(6日間)
- ・場所 長春国際会議展示センター(中国吉林省長春市内)
- ・主催 中華人民共和国商務部、国家発展と改革委員会、吉林省人民政府
- ・出展ブース数 2,600ブース

### (2) 内容

- ・博覧会は北東アジア観光展示館(1館)、文化産業展示館(2館)、科学技術電子展示館(8館)等の8つの屋内展示館と中小企業の特許・革新技術、特色のある商品展示を行う屋外展示区域により構成。
- ・北東アジア、東南アジア、欧米等の国と地域のブランド商品、優良商品、ハイテク商品などを展示し、中国内外の有力なバイヤー、サプライヤー等を招待して商談等を実施。

## 2 出展概要

### (1) 企業出展

「科学技術電子展示館(8館)」に次の県内企業ブースを出展(企業名五十音順)

出展企業名	所在地	出展内容
石田商事(株)	米子市	各種調味料、日本酒、キャンデー、黒にんにくエキス
(有)片山電機	鳥取市	LED蛍光管、車載用LED基板
(有)KSTレード	境港市	ドリル研磨機、断熱塗料、化粧品
(株)澤井珈琲	境港市	各種珈琲製品
(有)山根農機商会	米子市	精米機、石抜機

出展企業は、会場内で自社商品のPR、販売を実施。加えて、(公財)鳥取県産業振興機構が個別に現地企業との商談等をアレンジし、ビジネスマッチングを支援した。

### (2) 観光PR

「北東アジア観光展示館(1館)」の日本館に本県の観光パンフレット等を配置し、観光PRを実施した。

### (3) まんが王国とつとり

「文化産業展示館(2館)」に国際まんが博に関する資料を展示するとともに、クイズ等のミニゲームを実施し、まんが王国とつとりをPRした。

## 3 出展結果等

### <出展結果>

- ・商談件数約100件(うち成約見込み5件)

### <出展企業の主な声>

- ・現地企業からの多くの引き合いに対応するため、今後、吉林省長春市への事務所の設置も検討したい。また、来年も本博覧会で新製品を出展したい。
- ・来場者が多く、食品等の市場調査には有効であった。可能であれば来年も出展したい。
- ・有意義な商談が出来た。今後、具体的な輸出及び代理店契約の検討を進めていきたい。
- ・商品の使用方法を詳しく表示するなど、商品表示の改善が必要と感じた。

## 「鳥取ブランド展 in ロシア 2012」の開催について

平成24年9月19日  
経済通商総室  
通商物流室

10月3日から5日まで、ロシアウラジオストクで開催される「第16回極東食品展示会 DALAGRO&FOODPRODUCTS」に鳥取県ブースを出展します。このブース出展や会場でのステージイベントを、「鳥取ブランド展 in ロシア 2012」として事業展開し、鳥取県内企業とロシア企業とのビジネスマッチング、県産品の販路拡大及び環日本海定期貨客船の利用促進につなげる取組を行います。

### 「鳥取ブランド展 in ロシア 2012」概要

- 1 期 間 平成24年10月3日（水）から5日（金）まで
- 2 場 所 ウラジオストク市（スポーツコンプレックス「チャンピオン」）
- 3 主 催 とっとり国際ビジネスセンター（（公財）鳥取県産業振興機構）  
鳥取県ウラジオストクロシアビジネスサポートセンター
- 4 出展企業 ㈱エムコ（黒にんにく）、㈱かのや（粉末スープ等）、㈱澤井珈琲（珈琲）、  
シャルビー化粧品（化粧品）、全国農業協同組合鳥取県本部（梨等）、  
南部町（カレー、米） 以上6社
- 5 訪問団 金田昭（公財）鳥取県産業振興機構理事長及び出展企業関係者等 計21名
- 6 内 容 ・鳥取県ブース（9㎡×3）における出展企業による販売促進及び商談  
・特設ステージにおける鳥取県PR  
（鳥取県内商材及び観光PR、在ウラジオストク日本国総領事公邸料理人による鳥取県内食材を利用した調理デモンストラーションの実施）  
・「第16回極東食品展示会」内の行事とは別に、現地レストランにて鳥取県内食材を利用したメニュー提供、料理教室を開催
- 7 広 報 ・ダリエキスポセンターによる広報  
・沿海地方テレビ（PTR）にて15秒スポット告知CM（9月：50回）  
・鳥取県出展に関するパンフレットを作成し、沿海地方開催大規模行事（例：「海の日イベント等」）にて配布  
・鳥取県ウラジオストクビジネスサポートセンターによるロシア人バイヤーへの参加要請

### 【参考：「第16回極東食品展示会 DALAGRO&FOODPRODUCTS」の概要】

- (1) 期間：平成24年10月3日（水）から5日（金）
- (2) 場所：ウラジオストク市（（スポーツコンプレックス「チャンピオン」）
- (3) 主催：「ダリエキスポセンター」
- (4) 協力：沿海地方行政政府農業食品局
- (5) 概要：毎年開催。農産品、食品、生活雑貨等の商品展示会。約80社の業者が出展予定。海外からは中国、韓国、日本等が参加。日本からは新潟、京都、北海道、青森等の企業、地方自治体等が出展予定又は出展調整中。

# 第1回医工連携戦略プロジェクト推進委員会の開催について

平成24年9月19日  
産業振興総室  
産学金官連携室

医療機器開発等の取組を促進するための組織として「医工連携戦略プロジェクト推進委員会」を立ち上げました。

## 1 背景

- ・医療機器産業の世界市場は25兆円（2005年）、毎年約5～8%の成長率。国内の市場は約2.2兆円（2008年）。今後も高齢化等により、市場拡大が想定される。
- ・本県には鳥大医学部・工学部が存在し、ものづくり系企業の集積があるが、鳥大の医療機器開発ニーズと県内企業を結びつけるプラットフォームが不在である。
- ・高度先進医療を目指す医学部附属病院等の医療現場における医療機器開発ニーズと県内外企業とのマッチング等を行う組織を作り、医療機器開発等の取組を促進する。

## 2 医工連携戦略プロジェクト推進体制

### 【医工連携戦略プロジェクト推進委員会委員】

区分	所属	役職	名前
研究機関	鳥取大学	副学長	岸田 悟
		医学部附属病院長	北野 博也
産業支援機関	鳥取県商工会議所連合会	会長	清水 昭允
	鳥取県経済同友会	代表幹事	秦野 一憲
	(地独)鳥取県産業技術センター	理事長	村江 清志
	(公財)鳥取県産業振興機構	代表理事理事長	金田 昭
行政	鳥取県	商工労働部長	岡村 整諮

### 【ワーキンググループ】（推進委員会の下部組織としてマッチングの推進、個別案件支援を行う。）

区分	所属	役職	名前
研究機関	鳥取大学	医学部附属病院次世代高度医療推進センター医療機器部門特命准教授	植木 賢
		産学・地域連携推進機構産官学連携コーディネーター	和田 肇
		産学・地域連携推進機構米子地区地域連携部門産官学連携コーディネーター	増田 紳哉
		産学・地域連携推進機構知的財産管理運用部門長	三須 幸一郎
産業支援機関	(地独)鳥取県産業技術センター	機械素材研究所副所長	草野 浩幸
	(公財)鳥取県産業振興機構	企業支援部長	高橋 徹
	(公財)鳥取県産業振興機構	知的所有権センター長	景山 隆
行政	鳥取県	商工労働部産業振興総室産学金官連携室長	山下 喜夫

## 3 第1回推進委員会概要

◇日時 平成24年9月6日（木） 13:00～14:30

◇場所 鳥取大学医学部会議室

◇内容

①事業内容説明（県）

②先進地域講演

テーマ：「医療機器産業の現状と支援事業について」

講演者：大阪商工会議所 経済産業部 ライフサイエンス振興担当課長 井上 毅 氏

③意見交換内容

- ・世界で売れる商品を作りたい。中国・韓国と組んでヨーロッパ、アメリカに対抗したい。
- ・今までは医療との接点がなく、情報がなかった。本日のような取組を推進することが必要。
- ・医療機器のアイデアはあるので開発の幅を横に広げたい。

## 4 今後のスケジュール

10月：ロボット手術室視察及び第2回推進委員会・第2回ワーキンググループ開催

# 平成24年度 第1回農医連携促進協議会の開催について

平成24年9月19日  
産業振興総室  
産学官連携室

医療、健康分野における知見・ニーズと農業技術を活用し、医療関係者と農業生産者が連携して取り組む機能性農産物や健康食品の開発・生産・販売を支援し、新たな健康関連産業を創出するため、平成24年度第1回農医連携促進協議会を開催しました。

## 1 開催日時等について

(1) 日 時 平成24年8月8日(水) 10:30~12:00

(2) 会 場 ホテルハーベストイン米子(米子市弥生町2-87)

## (3) 内 容

○平成23年度の取組状況について

- ・平成23年度の農医連携促進協議会等の開催状況及び会議の結果を受けて行った企業訪問(9件)の状況について報告・意見交換を行った。

○平成24年度の事業概要について

- ・平成24年度の事業スケジュール、平成24年度農医協働連携事業化補助金についての説明及び意見交換を行った。

○農医連携の具体的な取組案件の検討について

- ・企業訪問等を行った結果、平成24年度農医協働連携事業化補助金の申請予定案件(2件)について報告した。
- ・農医連携事務連絡会で得た情報を元に、新たな健康関連産業として取り組みそうな案件を検討した。

## 2 今後の取組について

・第2回農医連携促進協議会の開催(H24年9月)

⇒農医協働連携事業化補助金の審査(2件)。

- ・抗インフルエンザ効果があるといわれるハーブの栽培技術の研究並びにハーブを活用した商品開発及び販路開拓。
- ・免疫活性効果があるといわれる自然薯及びむかごの栽培技術の研究並びに自然薯及びむかごを活用した商品開発及び販路開拓。

・農医連携事務連絡会(随時)

⇒情報収集、農医の事業者グループの立ち上げ支援等。

・農医連携促進セミナーの開催(H24年11月~12月(予定))

⇒農医連携の取組を促進するため、医療・農業関係者等へ普及・啓発。

・第3回農医連携促進協議会の開催(H25年3月(予定))

⇒補助事業者のフォローアップ及び次年度案件の検討。



# 県有施設へ導入する直管形LEDランプの性能に関する標準仕様書の作成について

平成24年9月19日  
産業振興総室  
次世代環境産業室

県有施設への直管形LEDランプ（蛍光灯タイプ）の導入にあたり、性能が確保された製品の調達並びに県内LED関連産業の振興を目的として、直管形LEDランプの調達に関する標準仕様を定めました。

## 1 目的

- (1) 性能基準等に関するJIS規格が未制定の直管形LEDランプについて、性能が確保された製品を調達する。
- (2) 県内産LED照明の製品開発及び性能向上を促進し、県内LED関連産業の振興を図る。

## 2 仕様(規格品質)

- (1) 性能 別紙のとおり。
- (2) 鳥取県内に事業所を有する企業が製品全体の企画及び主要な設計（LEDモジュールの光学設計及び回路設計）を行い、かつ、最終製品の組立て及び製品検査の全部が県内で行われている製品であること。

## 3 仕様設定の考え方

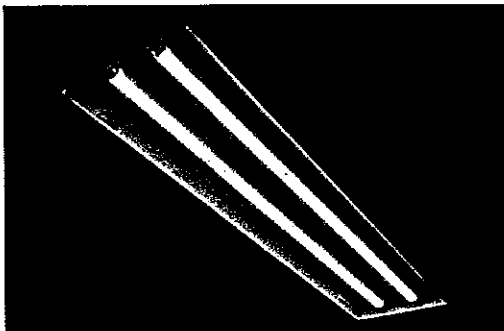
県内企業の製品開発状況、製品性能を調査のうえ、直管形LEDランプのJIS規格化の動きを踏まえつつ、業界団体（一般社団法人日本電球工業会）の自主規格（JEL801）で定める直管形LEDランプの仕様との整合性を図り、全国で通用するレベルの性能を設定。

また、鳥取県産業振興条例の趣旨を踏まえ、県内企業による主体的な製品開発とそのレベルアップを促進し、併せて県内雇用の確保、県内経済の活性化を図るため、県内製品の定義を明確化。

## 4 その他

県では、県内産LED照明の性能等に関する基準を定め、(地独)鳥取県産業技術センターにおいて実施する統一性能評価試験をクリアしたLED製品のブランド化を計画している。

【参考：直管形LEDランプ（40wタイプ）】



## 別紙

## 性能

項目	規格・性能
外形サイズ	既存の蛍光灯器具に取付可能であること
カバーの色	乳白色(※特に希望する場合はクリアも有り)
全光束	40w タイプ=2000ルーメン以上
	20w タイプ=900ルーメン以上
1m 直下照度	40w タイプ=400ルクス以上
	20w タイプ=200ルクス以上
演色評価数(Ra)	居室は Ra80 以上、居室以外(トイレ・廊下等)は Ra70 以上
色温度	昼白色蛍光灯相当(4600K~5400K)
	(参考:他の蛍光灯色温度例) 白色:3900~4500K(通常 4200K)、昼光色:5700~7100K(通常 6500K)
照射角度	120 度以内の光束が 70%未満
定格電圧	AC100V/200V 対応
消費電力	40w タイプ=25w 以下、20w タイプ=12w 以下
重量	500g 未満
設計寿命(光束維持率 70%時)	40000 時間以上
ちらつき	ちらつきを感じないものであること。 (光出力の欠落部(光出力のピーク値の5%以下の部分)がなく繰り返し周波数が 100Hz 以上であるもの又は光出力の繰り返し周波数が 500Hz 以上であるものは、ち らつきを感じないものとみなす。)
放射雑音・雑音端子電圧	VCCI ClassBに準拠していること
電源高調波	JIS C61000-3-2ClassCに準拠
口金形状	G13
動作保証温度	-10°C~+40°C
電気用品安全法	外付電源はPSE対応品であること
RoHS 指令準拠	準拠していること
保証期間	検収後1年以上

## 【用語解説】

- 全光束…光源からすべての方向に放射される光の量(ルーメン:lm)
- 照度…光源が物体を照らす光の明るさ。(ルクス:lx)
- 色温度…光源が発する光の色を定量的な数値で表す尺度(ケルビン:K)
- 演色評価数…ある光で物体を照らしたとき、太陽光に近い基準光で照らした場合の色合いとどの程度一致しているかを数値化したもの。数値が大きいほど太陽光に近く、演色性が優れる。
- 放射雑音…主に電源装置から空中に発生するノイズ。テレビやラジオの電波障害の原因になる。
- 電源高調波…電源ラインに流れるノイズ。他の電気製品の誤動作の原因になる。
- G13…蛍光灯に使用されるJISで定められた口金形状。
- PSE…電気用品安全法。法の規制対象となる電気用品は、同法の技術基準に適合させ、これを証する「PSEマーク」を表示しなければ販売できない。
- RoHS指令…2006年7月からEU加盟国で施行されている電気電子機器への有害な化学物質の使用を禁止する指令。指令に準拠しないとEU加盟国に販売できない。